

芋井YOSAKU隊 令和7年度の取り組み

いもいリビングらぼ（芋井地区住民自治協議会）

2026年（令和8年）1月18日

於：アソビーバナガノパーク

芋井YOSAKU隊の歩み

- ・2022年秋に、芋井住自協振興部会 里山整備利用推進事業「支障木まき等利用推進事業」として発足
- ・目的：薪等に木が欲しい方の協力を得て地区内の支障木を減らす。（ゼロカーボンにも貢献）
- ・飯綱高原地区に協力者を募集（薪ストーブ利用者多数）
- ・2022年11月にチェーンソー講習会を実施
- ・2023年 4月 「農道芋井26号線」沿いの支障木伐採から実働開始。名称を「芋井YOSAKU隊」に改称
- ・市から伐採届提出の指摘を受ける。
- ・2024年からは、いもいリビングらぼの活動に取込伐採届の不要な場所の支障木等を伐採している。

芋井YOSAKU隊

《 2023年 2024年 2025年の活動推移 》

・協力会員数	21名	(2025年現在)
・活動日数	2023年 11日	2024年 13日
・延参加人員	2023年 46名	2024年 61名

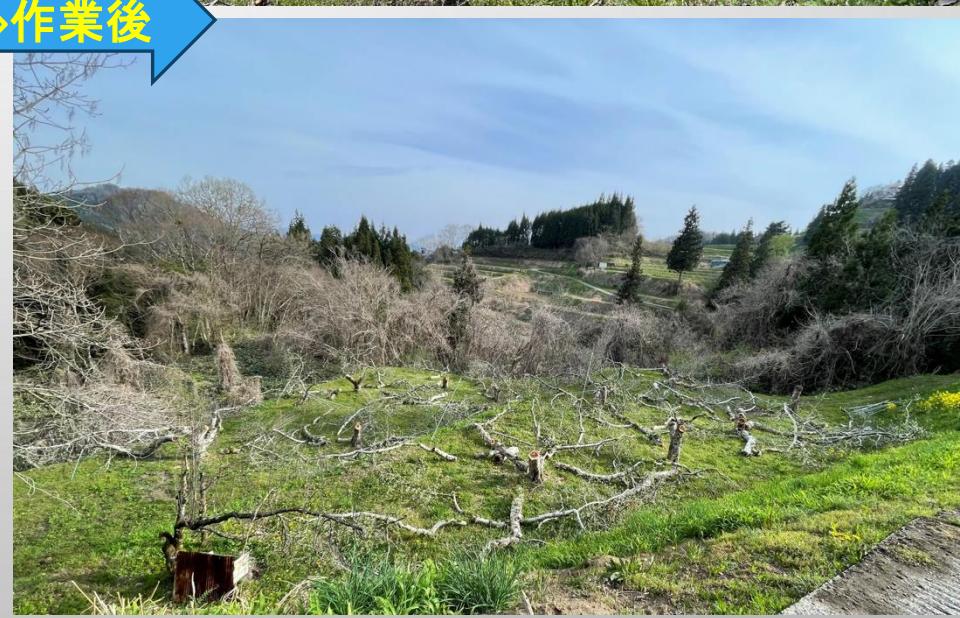
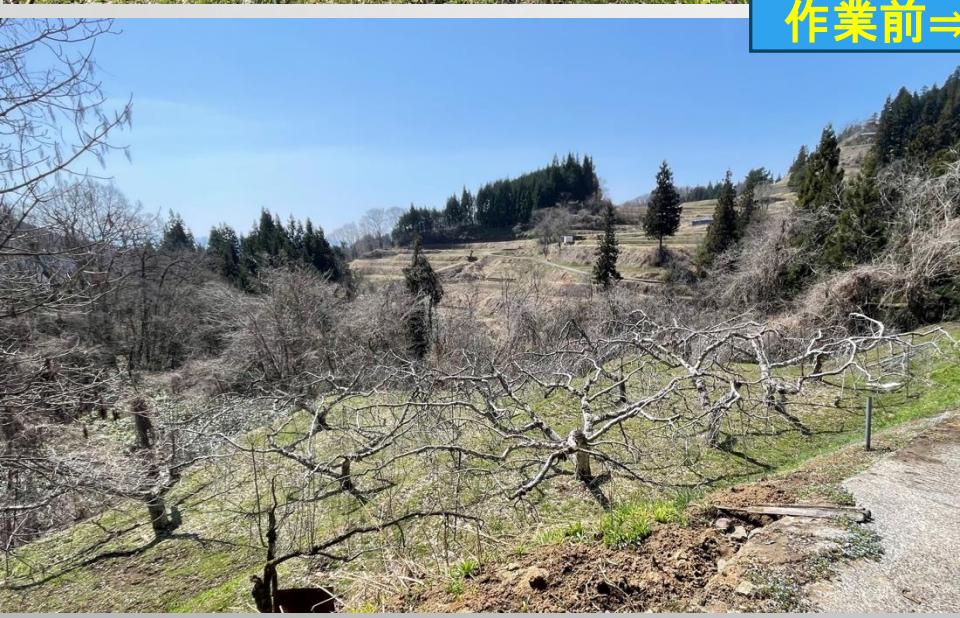
《 2025年の活動 》

・実施イベント	春:りんごの木の伐採 (4月4日～6月13日)	秋:広瀬ふれあい公園 (11月2日～29日)
・活動日数	13日	6日
・延参加人員	34名	28名

2025年4～6月 平地区リンゴ生産農家からの依頼
生産縮小の為、成木25本の伐採に協力（リンゴ約6トン分）



作業前⇒作業後





2025年4～6月 果樹伐採現場

2025年4～6月 果樹伐採範囲
リンゴ成木25本伐採



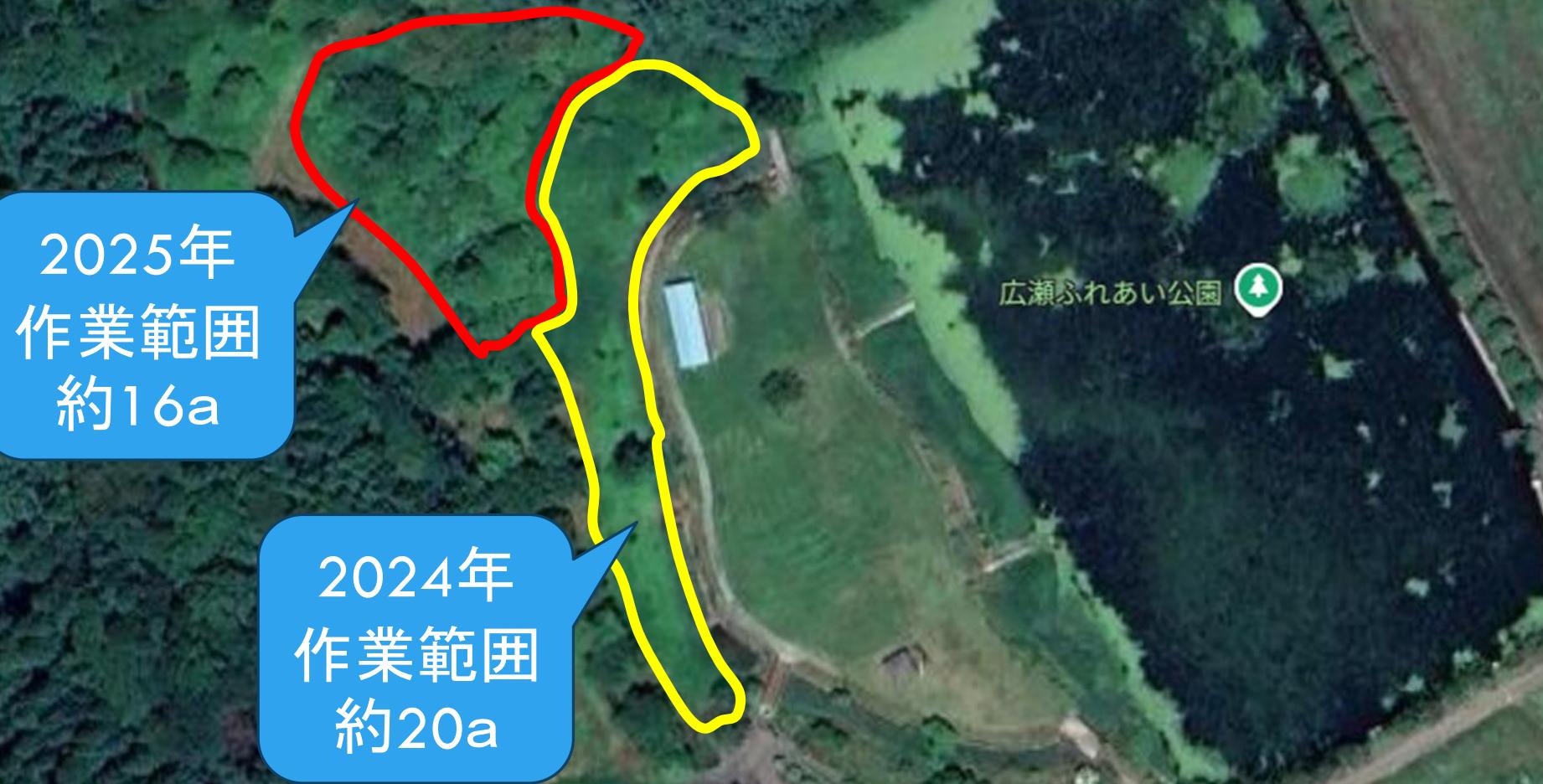
広瀬ふれあい公園整備作業

- ・広瀬ふれあい公園管理委員会からの依頼で公園の整備作業に協力。
- ・2000年の開園以来、手つかずで藪になってしまった部分の藪払いを実施。
- ・2024年と2025年の2年計画で実施した。

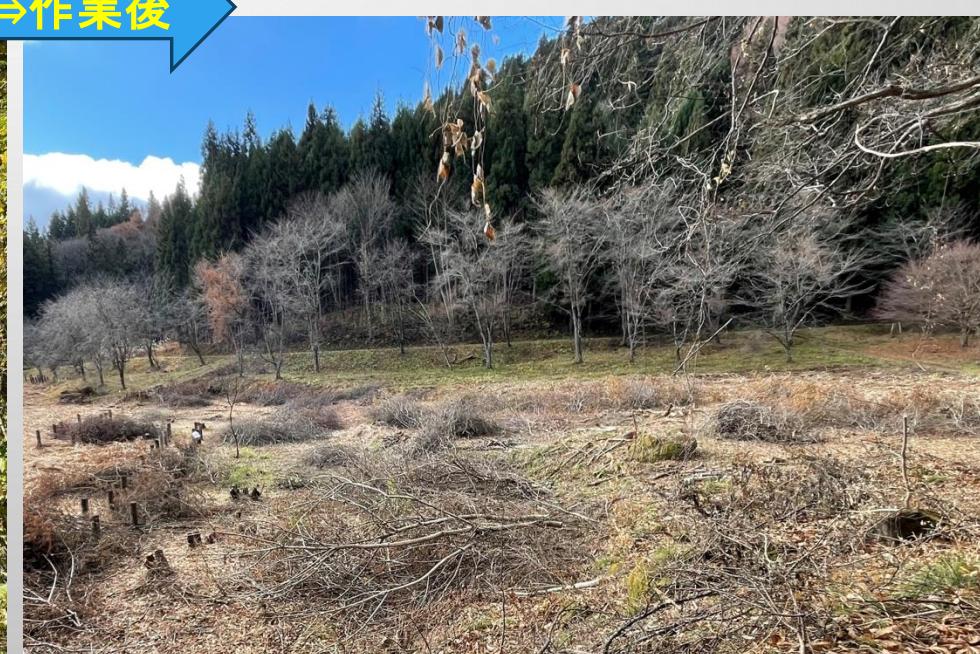
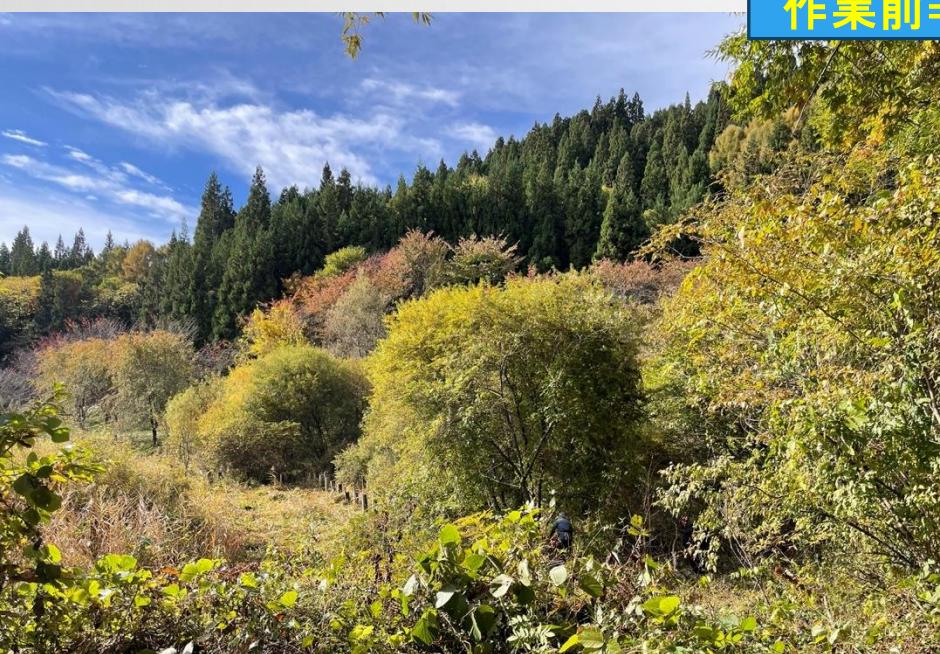
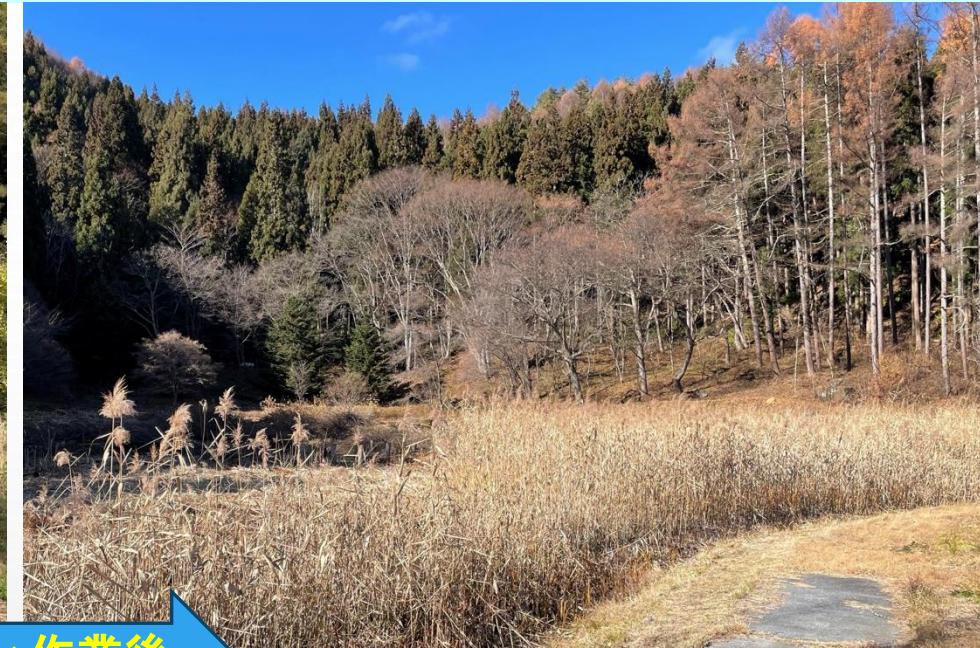
整備作業の進め方

- ・草刈払い機で、草・ツル・小枝の絡まった部分を刈払い、立木根本への道及び伐採作業スペースを作る。
- ・木を伐採 枝を落し、運びやすいサイズに玉切る。
- ・玉切り木を搬出し、小枝は現場にかためて残す。
- ・木種：ヤナギ・ミズキ・カバ等、10~20cm

2025年11月 広瀬ふれあい公園の伐採範囲

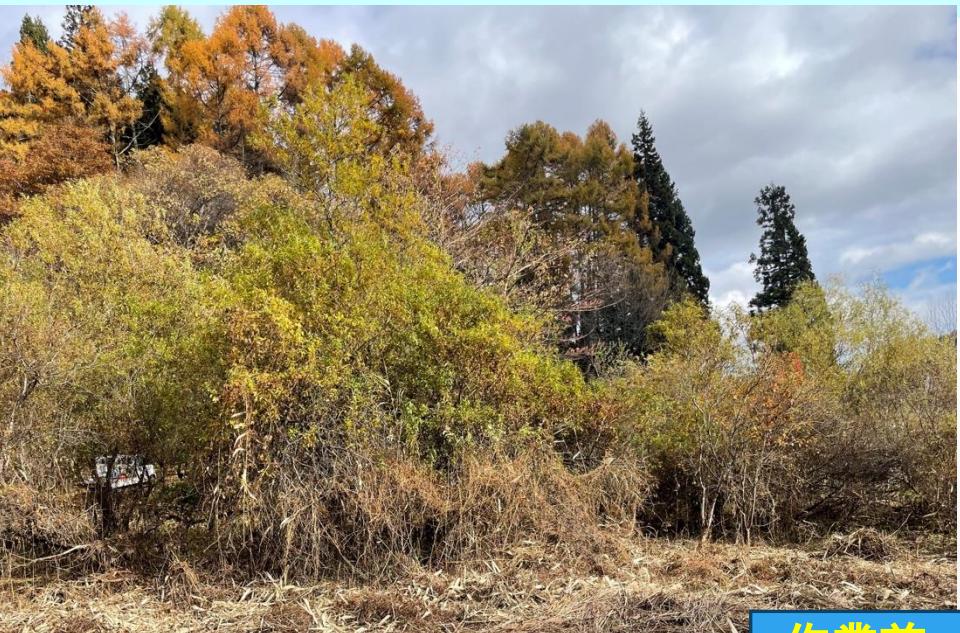


2025年11月 広瀬ふれあい公園の支障木伐採片付けに協力

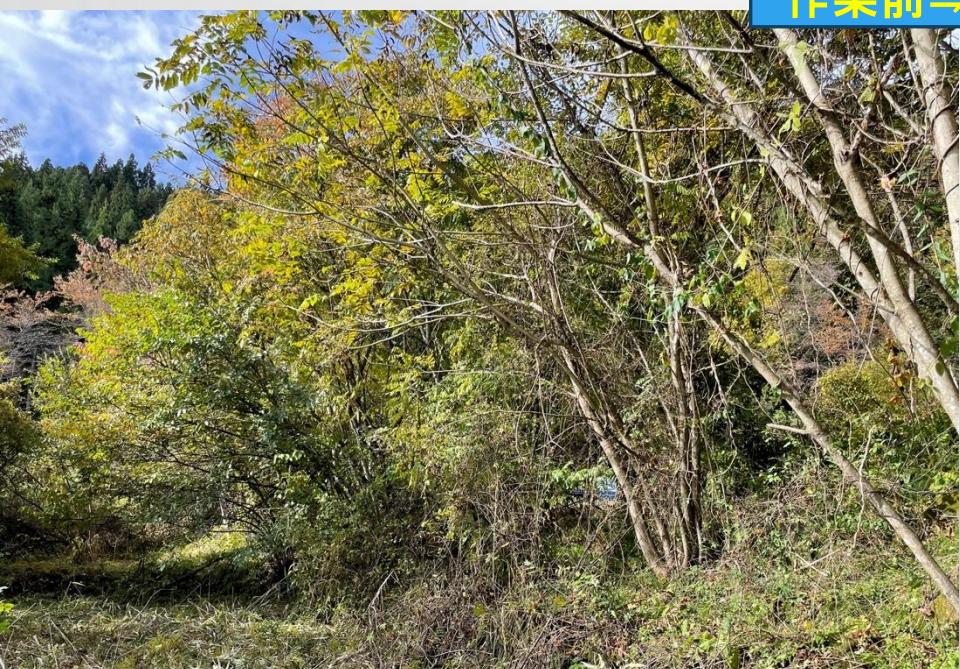


作業前→作業後

2025年11月 広瀬ふれあい公園の支障木伐採片付けに協力



作業前→作業後



広瀬ふれあい公園
2024年 作業前



広瀬ふれあい公園
2024年 作業後



大径木の伐採の様子



芋井YOSAKU隊 懸案項目

- ・チェーンソーの安全講習会の実施
- ・伐採届提出の工数確保
- ・伐採時の重機等の機械化
- ・活動のPR不足
- ・会員募集と増加に伴う、仕事量の確保
- ・広瀬ふれあい公園等、藪を刈り払った後の草刈りの実施。
- ・草刈りをしないとまた藪に戻ってしまう。

《 2026年 令和 8 年の活動 》

芋井YOSAKU隊

- ・チェーンソー安全講習会の実施
- ・公道、公共施設等の支障木の伐採協力
- ・公園等の支障木の伐採協力
- ・倒木等の片付け協力
- ・不要になった果樹伐採への協力
- ・伐採跡地の草刈りを草刈りバスターズとの協動で実施。
- ・協力会員の募集